

京丹後市庁舎増築棟整備基本・実施設計業務委託 公募型プロポーザル

審査講評

令和4年9月

京丹後市庁舎増築棟基本設計等プロポーザル選定委員会

令和4年6月6日の公告による京丹後市庁舎増築棟整備基本・実施設計業務委託 公募
型プロポーザルの審査講評をここに公表します。

令和4年9月9日

京丹後市庁舎増築棟基本設計等プロポーザル選定委員会

委員長	尾上 亮介
委員	川久保 俊
委員	大庭 哲治
委員	山崎 眞治
委員	中西 和義

目次

1	設計者選定の体制等.....	1
2	審査結果.....	2
3	審査講評.....	3
4	選定の経過.....	5

1 設計者選定の体制等

(1) 設計者選定の体制

京丹後市庁舎増築棟基本設計等プロポーザル選定委員会（以下「選定委員会」という。）において、参加表明者から提出された書類等について一次審査及び二次審査を実施し、委託候補者及び次席者を選定した。

(2) 選定委員会

氏名	所属・役職
◎尾上 亮介	舞鶴工業高等専門学校建築システム工学科 教授
川久保 俊	法政大学デザイン工学部建築学科 教授
大庭 哲治	京都大学経営管理大学院 京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 准教授
山崎 眞治	京都府建設交通部 営繕課長
中西 和義	京丹後市 副市長

◎ 委員長

(敬称略、順不同)

2 審査結果

(1) 委託候補者及び次席者の選定

次のとおり、委託候補者及び次席者を選定した。

ア 委託候補者

株式会社 内藤建築事務所

イ 次席者

有限会社 香山建築研究所

(2) 結果の詳細

ア 一次審査

一次審査では、参加表明者から提出された書類により、参加資格要件を確認し、業務実績や担当チームの能力等について審査を行った。

この審査の結果、参加表明者5者のうち参加資格要件を満たす4者を選定し、技術提案書の提出依頼を行った。

イ 二次審査

二次審査では、技術提案書、プレゼンテーション及びヒアリングを踏まえ、二次審査評価表に定める評価項目に基づき審査を行った。

審査の結果、次の順位となった。

順位	企業名	適用
1	株式会社 内藤建築事務所	委託候補者
2	有限会社 香山建築研究所	次席者
3	*****	
4	*****	

3 審査講評

「京丹後市庁舎増築棟整備基本計画」（以下「基本計画」という。）における基本理念及び基本方針を踏まえるとともに、柔軟かつ高度な創造力と技術力、設計能力等を有する設計者を選定した。

二次審査では、技術提案やCASBEE評価シートにより、SDGsの対応方針等を含め総合的に審査を行った。特に委託候補者と次席者はともに優れた提案であった。

なお、本プロポーザルではリモートを併用した審査にも関わらず、模型やスライド等を活用しながら熱意のあるプレゼンテーションを行っていただいた。本プロポーザルに貴重な時間を費やし、準備いただいた参加者に深く敬意を表する。

【委託候補者】株式会社 内藤建築事務所

全提案のうち、各評価項目に対するバランスが良く、当市の基本方針等への配慮や、コンセプトが明確で具体的な提案がなされた。

また、峰山庁舎と増築棟を接続する連絡通路を含む建物内部や外部に市民利用を考えたスペースが多層階に分散していることが高く評価できた。更に、市民に庁舎への愛着をもたらし、市民の記憶に残るようなプロセスとして、市民ワークショップを提案されたことも評価できた。

なお、基本計画に示す地上3階、4000㎡規模について、設計を進めるうえで詳細に検討し、提案内容より優れた執務空間や市民利用スペースの工夫ができるよう取り組んでいただきたい。基本計画による建物計画の実現に向け、コスト縮減や維持管理のしやすさ等を実現する設計を期待する。

【次席者】有限会社 香山建築研究所

基本計画に配慮した提案であったものの、京丹後市の特色をとらえた工夫が不明瞭で、高評価にはならなかった。

実績を基にしたZEB化への具体的な提案等、環境面で高く評価できた。しかし、意匠における当市ならではの独創性や執務空間の配置について工夫が不足していたことや業務工程に懸念が残り、委託候補者に届かなかった。

株式会社 遠藤克彦建築研究所

基本計画に配慮した提案であり、雁行型のメリットを活かし多方面から建物へアクセスできる市民の利便性に配慮した配置計画や、執務空間の将来的な転用等も考えられた具体的な提案であった。しかし、複雑な形状によるイニシャルコストやランニングコストの増加等への懸念が残り、高評価とはならなかった。

株式会社 徳岡設計

他の提案と比較し、京丹後市の特色をとらえた工夫が不足しており、高評価にはならなかった。

脱炭素を目指した省エネルギーや創エネルギー対策が具体的で環境面では評価できた。しかし、意匠における独創性や市民交流スペース等の配置計画について懸念が残り、高評価とはならなかった。

4 選定の経過

令和4年6月	3日(金)	第1回選定委員会
6月	6日(月)	プロポーザル公告
6月13日	(月)	一次審査の質問受付期限
6月17日	(金)	一次審査の質問回答
6月24日	(金)	参加表明書等の提出期限
7月	4日(月)	一次審査結果通知
7月13日	(水)	技術提案の質問受付期限
7月20日	(水)	技術提案の質問回答
8月18日	(木)	技術提案書の提出期限
8月29日	(月)	二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング) (第2回選定委員会) 委託候補者及び次席者の選定